

舞とひとり語り



山村 謙江
地唄 「縁の綱」
唄・三弦 菊央 雄司



林 英世
山本周五郎「並木河岸」

日時 令和6年 5月26日（日）午後2時開演（午後1時30分開場）
入場料 3,000円

場所 重要文化財 村井家住宅
奈良県葛城市南道穂189番地 近鉄新庄駅下車 徒歩約8分

【お申し込み・お問い合わせ】 muraike.hozonkai@gmail.com

主催 村井家住宅保存会

重要文化財 村井家住宅（国・県指定）

村井家住宅は代々庄屋を勤めた家柄。

江戸時代中期の1699年に内蔵、1700年に主屋、後期に表門が建てられた。主屋は切妻造を組み合わせた大和棟造の邸宅で 大屋根の煙出しがアクセントになっており 保存がよく意匠が優れ 当時の屋敷構をよく残している。2012年12月から国と県等が大修復工事を開始し 2018年5月に完了した。



林 英世

俳優・俳優指導者。舞台出演のほか、テレビ、映画、ラジオなどに出演。

演出、俳優養成にも力を入れる。2001年より「林英世 ひとり語り」公演を始め「映画のように言葉が立ち上がる」と好評を得る。

俳優だけでなく一般の方に向け「身体」「声」「言葉」の繋がりを深めることによって自分の可能性を広げてもらえるようなワークショップを開催している。

大阪芸術大学 舞台芸術学科非常勤講師

並木河岸あらすじ

子供好きの鉄次だが、妻のおていとの間にできた子供は生れなかった。誰が悪い訳でもないとはわかりつつ、夫婦の間にひんやりとした空気が忍び込む。そんな時、或る女と出会い、鉄次の心はかすかに波立つ。

夫婦とは、親子とは…脆く儚いものなのか…。人の心の機微を描いた秀作短編。

山村謙江

山村流若登会主宰。3歳より山村流四世宗家（伯母）に指導を受ける。

高校一年生（15歳）にて名取を許され、大学卒業と同時に舞踊活動に専念。舞台活動に加え、後進の指導育成に努める。

大阪芸術大学 舞台芸術学科非常勤講師、守口こども園橋波幼児舎講師

主な受賞歴

伝統芸能懇話会「三人の会」新人賞受賞、グリーンリボン賞新人賞受賞

大阪文化祭奨励賞受賞

地唄「縁の綱」解説

上方舞で舞われる代表的な艶物。「春はいつ」とわが身の春を待ちわびてつれない男の冷たさを嘆き、そんな男を船にたとえ、その船尾を繋ぐ鱸綱を、縁の綱に懸けている。縁の綱は本来仏縁に導く綱の事だが、ここでは縁結びの出雲に寄せて恋の成就につながる綱を示している。